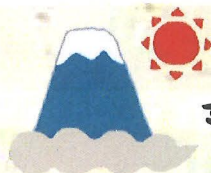


地域連携室だより



新年のご挨拶

～病院長 河本 紀～

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、
新春を健やかに迎えのことと
お慶び申し上げます。



いつも大変お世話になっております。心より御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスのため2回の院内クラスターを経験するなど大変苦しい1年でした。本年も第8波や第9波も予想され接種後死亡例の問題など粘り強い対応が望まれます。

さて広島市では8病院を再編する新病院構想など新しい医療計画が新聞紙上に取り上げられています。尾三地区でも三原赤十字病院と三菱三原病院の統合に続いて、三原市医師会病院が山田記念病院を統合する計画が発表されました。医療レベルが進歩するなか、人口が減少する未来に向けて統合再編の動きが今後も続いていくと思われれます。

当院も尾三地区で再編統合の対象病院とされています。しかし先にあげた病院はいずれも都会にあって近くの病院同士の統合でした。しかし当院は、尾道市の南の端に位置しています。島嶼部の透析患者さんもあり、尾道市内への通院透析は困難でしょう。慎重に考えなければいけないものと思われれます。ともかく院長は本年4月には消化器内科専門医の山本頼正先生に交代いたします。もうすこし時間をかけて考えていただければ幸いです。

皆様の話をよく聞き地域の病院として役に立つ活動をしたいと思ひます。
よろしくお願ひします。



ユニフォーム紹介

2022年12月より新しいユニフォームになりました。
病院の雰囲気も変わり、看護師長は「パープル」
看護師は「エンジ」になりました。
心機一転！これからもよろしくお願いします。



内視鏡指導医のつぶやき ～内視鏡検査は苦しくありません～

最新のがん統計(2019年)では、がん全体の中で、胃がんと診断される人数は大腸がん、肺がんに次いで第3位で、胃がんによる死亡数も肺がん、大腸がんに次いで第3位です。現在、男女とも2人に1人ががんに罹患しますが、胃がんは男性の10人に1人が、女性は21人に1人の割合で胃がん罹患します。

しかしながら、胃がんは早期に発見されれば96%以上で治癒します。さらに最も初期の胃がんは口からの内視鏡切除で治療できます。(図1)
以前の胃がん検診はバリウムによるエックス線検査だけでしたが、内視鏡による胃がん検診の有効性が証明され、2016年から内視鏡検診が開始されています。尾道市でも40歳以上で希望される方は、年1回の内視鏡検診を



図1:内視鏡切除の適応となる10mmの早期胃がん(黄色矢印)



図2:胃内視鏡検査

受けることができます。内視鏡検診はバリウム検査と比較して、より正確な検査が可能であり、必要なときに組織を採取しての精密検査も同時に可能です。また胃がんの原因のひとつであるピロリ菌感染の有無についても診断が可能です。

当院では、日本消化器内視鏡学会の指導医(内視鏡検査1,000件/年)が検査を担当し、検査当日に結果を説明し、今後の検診間隔や追加検査のお勧めなど行っております。(図2、3)内視鏡検査は怖い、苦しいと思われる方や、実際にそのような経験をされた方もいらっしゃると思います。当院ではそのような方には鎮静剤を使用しうとうとしながら検査を受けていただくことや、鼻からの内視鏡検査を受けていただくこともできます。また胃がん内視鏡検診では、胃の検査だけでなく、咽頭、喉頭、食道、十二指腸の検査も同時に実施します。そのため偶然、食道がんや十二指腸がんが発見される場合もあり、それも胃がん内視鏡検診のメリットです。
是非一度、当院での胃がん内視鏡検診の受診をご検討ください。

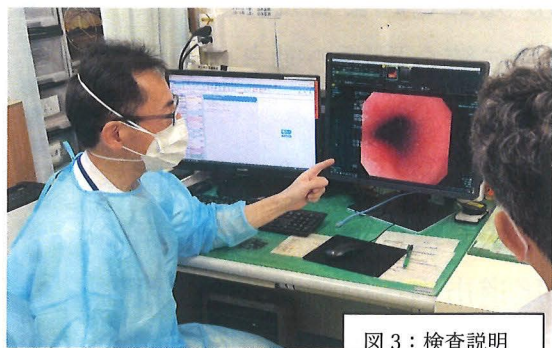


図3:検査説明

日本消化器内視鏡学会指導医 山本 頼正

=診療のお知らせ= 1月28日(土)・2月25日(土)・3月25日(土) 午前中のみ診療します

日立造船健康保険組合 因島総合病院

〒722-2323 広島県尾道市因島土生町 2561 番地

TEL:0845-22-2552 FAX:0845-22-0991

HP <http://innoshima-hospital.jp/>

Facebook <http://facebook.com/intobyouin>

発行元/因島総合病院地域連携室 お問い合わせ直通電話:0845-22-0061 FAX:0845-22-4714



詳しくはホームページをご覧ください